

JR宇都宮駅頭で穀田議員が訴え

共産党躍進で安倍政権退陣へ

宇都宮民報

—発行—
日本共産党
宇都宮市委員会
弥生1丁目7-11
旭コーポ1階
Tel634-8722

日本共産党発行
赤旗
日刊 3497円
日曜版 823円



「共謀罪」強行に抗議



穀田党国会対策委員長（左から3人目）と栃木県の衆院予定候補の皆さん

日本共産党の穀田恵二国会対策委員長（衆院議員）は20日、JR宇都宮駅西口で街頭演説し、目前に迫った東京都議選と次期総選挙での共産党の躍進を訴えました。

穀田氏は、冒頭、「共謀罪」法案強行採決を厳しく批判。「審議をやり直し、廃案に追い込む」と主張し、聴衆は「そうだ」の声で応えました。

小池一徳衆院比例予定候補（栃木2区重複）と青木ひろし衆院1区予定候補も登壇。「改憲勢力を少数に追い込む」と決意表明しました。

「そのために何をすべきか」と問いかけ、「市民と野党の闘いを広げ、要となる共産党躍進の意義を語り、支援を訴えました。」



自民、公明、維新が19日、「共謀罪」の衆院法務委員会での採決を強行しました。日本共産党や市民団体が採決強行の動きに強く抗議し、必ず廃案に追い込もうと宣伝・署名に取り組みました。

宇都宮市では19日夕方、3カ所で採決を強行した自公維3党の強行に抗議し、「共謀罪」法案の廃案を求める宣伝行動が展開されました。

市内中心部では、日本共産党の青木ひろし衆院1区予定候補、野村せつ子県議、福田くみ子市議らが街頭演説。

青木氏は「強行採決に断固抗議する」とこん身の怒りを表明。「法案の狙いは、日本を『戦争する国』に変えることにある。市民と野党の闘いを広げぬき、廃案へ全力をあげる」と力説しました。



宣伝カーから訴える左から野村県議、青木予定候補、福田市議

「共謀罪」の衆院法務委員会での採決を強行しました。日本共産党や市民団体が採決強行の動きに強く抗議し、必ず廃案に追い込もうと宣伝・署名に取り組みました。

内心を処罰 テロ無関係 市民が対象

福田くみ子市議は、共謀罪が、犯罪が行われていない話し合いや計画段階で捜査し、処罰される内心の自由を侵す違憲立法そのもの。二つ目に「テロ対策」というのもウソが審議の中で明らかになった。三つ目に、一般人は無関係だと言いつつ、一般市民は無関係だといいながらひとたび声を上げればたちまち捜査の対象になると指摘。安倍自民・公明政権の狙いは、政府のやることに異議をもつ市民を弾圧する「監視社会」をつくることにあると訴えました。

演説を聞き、強行採決を知った女性（70）は、「自由に発言できず、重苦しい社会になるような気がします。廃止するしかありません。反対する野党がもっと結束できるように、ぶれない共産党に期待します」と話しました。



廃案に力をあわせよう
市民の会も行動

安保法制（戦争法）廃止・9条守れ宇都宮市民の会は、毎月19日の宣伝・署名統一行動を、東武宇都宮駅北口で行いました。

この日の共謀罪法案の衆議院法務委員会での強行採決を受けて、市内の共産党や社民党・労働組合・新日本婦人の会など、市民団体から30人が駆けつけて市民に呼びかけ、対話も繰り広げました。

宣伝カーからは、渡辺公一地区労議長、石田弘太郎宇都宮市民の会会長、共産党の天谷美恵子さん、新日本婦人の会宇都宮支部長の須藤律子さん、宇賀神文雄社民党市議、福田くみ子共産党市議、青木ひろし共産党衆院栃木1区予定候補らがそれぞれマイクをとり、安倍改憲発言や共謀罪法案の危険な内容を明らかにし、憲法9条改悪許すな、共謀罪法案の廃止を訴えました。

憲法連続講座 第5回
「共謀罪」について
5月27日（土）
13:30~15:30

- ◆講師 石田弘太郎（弁護士）
- ◆参加費無料、事前の申込み不要
- ◆会場 栃木県弁護士会館
- ◆お問い合わせ 028-689-9000



「待機児童ゼロ」の裏側

市が公表 (4月時点) 「待機児童0名」??

宇都宮市保育課は4月26日、今年4月1日時点での宇都宮市の待機児童数が0名になったと、公表しました。

選べない現実

特定の保育園のみを希望している場合は、待機児童に含めないため、その数はなんと333名。また、今年度から育児休業中は、「復職意思」が確認できれば、待機児童に含めることとなったものの、該当者3名がいずれも前記の「特定園希望者」のため、待機児童には含まれていません。(下の表参照)

保育施設は多種多様

子ども子育て支援制度の開始で、様々な保育施設が運営されていますが、「保育所(公立および私立の認可保育所)」以外は、施設と個人の直接契約によるもので、市は「あつせん」はするものの、公的な関与の仕方は大きく異なります。

たとえば、「保育所」は保育料を滞納すると、市の責任で回収し、「保育を受ける権利」はなくなりません。しかし、直接契約の保育施設では、そうはいかなくなるかもしれません。

また、小規模保育施設では、対象は2歳児までで、資格のある保育士の配置基準も緩和されています。(保育所は全員が有資格者)

真の保育需要が見えない「待機児童」定義

急速に増える保育需要。自治体は、以前から「保育所整備計画」をつくり、将来需要を見込んで整備を進めると言ってきましたが、少子化であつ

ても保育需要は急激に高まり、整備は追いついていません。そのような中で、小泉内閣は待機児ゼロ作戦とし、定員以上の児童つめこみを押しつけ、安上がりの対策を促進し、保育環境も質も維持できない状態をつくってきました。保育所での死亡事故は、H26年だけで

3 待機児童数(確定値)

市保育課提供資料より

平成29年4月1日時点における待機児童数は、0名(前年比29名減)

内訳項目(公表項目と同じ)		28年4月(a)	29年4月(b)	28年4月との増減(b-a)
定員:A		9,341名	9,748名	+407名
申込者数:B		9,429名	10,092名	+663名
入所児童数	保育所を利用している者:C	7,977名	8,238名	+261名
	幼保連携型認定こども園を利用している者:D	841名	1,117名	+276名
	幼稚園型認定こども園等を利用している者:E	74名	65名	▲9名
	地域型保育事業を利用している者:F	147名	339名	+192名
	特例保育等を利用している者:G	0名	0名	±0名
	地方単独保育施策を利用している者:H	0名	0名	+0名
入所児童数計:I=C+D+E+F+G+H		9,039名	9,759名	+720名
入所率:J=I/A		96.7%	100.1%	+3.4%
待機に含めない児童	育児休業中の者:K	5名	0名	▲5名
	旧定義の場合	—	3名	—
	特定の保育園等のみ希望している者:L	356名	333名	▲23名
	旧定義の場合	—	330名	—
	求職活動を休止している者:M	0名	0名	±0名
旧定義の場合	—	0名	—	
待機児童:N=B-(I+K+L+M)		29名	0名	▲29名

基本的には、待機児童に含めることになるが、この3名のいずれもが、他に利用可能な保育所等の情報を個別に提供したにも関わらず待機することとなったため、特定の保育園等のみ希望している者(L)として取り扱う。

日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅
道路・交通安全・その他なんでも・・・

◇日時 6月10日(土) 午後2時~4時

◇会場 宇都宮市総合コミュニティセンター

◇連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)

土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。
秘密厳守します。弁護士が協力します。



も全国で17件(厚労省調査)も起きています。「特定園を希望」すると待機児童から外されてしまう…これでは真の需要は、つかめません。「わが子は少しでも良い保育所に入れたい」、「働き続けるためになるべく利便性の良い保育所を選びたい」、このような親の願いは「わがまま」なのでしょうか。すべてのこどもの人権が守られ、だれもが安心して働き続けられる保育環境の整備が求められています。